

とぶぞい ~いのちの祭~

つくるぞっ みんな！ 地球で一番熱いお祭だ！

山本寛斎がスーパーショーで表現してきたのは、「元気」。

元気の源は「夢を持つこと」「行動すること」、そして、「人と人との交流」。

ロシア、ベトナム、インドをはじめ、2000年の「ハロー・ジャパン」（岐阜・長良川競技場）に於いては1,000名のボランティアとともに開催するなど、国と国・人と人との交流を目指し、「地元と共に創り上げるイベント」として、観衆の絶大なる支持を集めると同時に、国際交流への大いなる貢献として絶賛されました。

日本人は四季を愛し、自然の恵みに感謝する心をととても大切にしてきました。その心は『祭』というカタチで、多種多様に表現され、人々に継承されてきました。

今回、愛・地球博において実施する『とぶぞっ~いのちの祭~』では、日本人の持つ「熱い心」「色彩美」をいっぱい詰め込んだ『地球で一番熱い祭』を地元の方々と一緒になって創り上げ、「愛・地球広場」から世界に向けて発信します。



山本寛斎

EXPO 2005 AICHI JAPAN OPENING EVENT

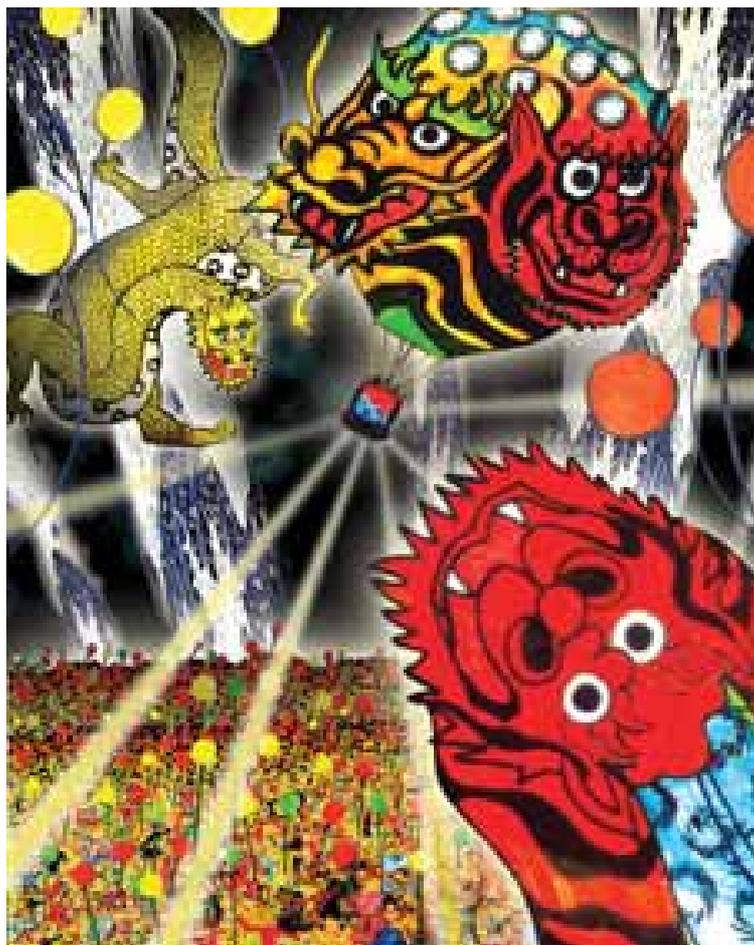
PRODUCED
by
KANSAI YAMAMOTO

TOBUZO!

とぶぞう

～いのちの祭～

イメージパース



衣裳イメージ



とぶぞう

～いのちの祭～

進行表-1

序の章



気、大地に起つ

梵天衆が雑然と色々な通路から
円形ステージ周辺に集まってくる。
応援団も梵天にまぎれながら
円形ステージ上に現れる。

獅子丸が声をあげるとともに
「いのちの祭」がはじまる

気、空を穿つ

応援団と、観客全員によるエール交換

気、風に奮う

風の衆（プラスバンド）の
パーカッション隊が登場し、円形ステージ
に向かい、演奏開始。
梵天に混ざっていた風の衆も演奏に加わり
全体の音になる

龍の章



気、水に躍る

和太鼓の音とともに
ゲートから”龍”が走り込んでくる

円形ステージの周囲でパフォーマンスのあと
やがて眠るように休む

とぶぞう

～いのちの祭～

進行表-2

龍の章



気、杜に跳ねる

龍が眠ったのと同時に、どこからともなく津軽三味線の音が聞こえ、“虎”が勇ましく登場。虎は、円形ステージに向かい歩き、龍を発見する。

虎は龍を気にいったのか、気を引くような動きをみせる。

やがて龍も起きだし、龍虎の絡みあうように動き始める

三味線に太鼓の音楽も加わり

龍虎のコラボレーションへとつづく

龍の章



気、天に至る

龍虎が円形ステージバックへ移動し、梵天衆がゲートに向かい走りだす。

やがて熱気球が大きく膨らんで立ち上がり、大空に向かい舞い上がる。

その姿を見た龍虎もバルーンに装着され、大空へと舞い上がりはじめる。

風の衆、応援団が登場し、熱気球、龍虎、和太鼓、津軽三味線、そして女神が現れ来場者も一体となり、会場全体の「気」が結集し、グランドフィナーレを迎える。

とぶぞい

～いのちの祭～

音楽監督プロフィール

吉田 潔 Kiyoshi Yoshida

1964年東京生まれ、横浜育ち。

1985年～1987年、アメリカ、バークリー音楽院にてコンテンポラリーアレンジ、フィルムスコアリングを専攻。

帰国後、シンセサイザープログラマーとして、数多くの著名作編曲家達のスコアに直に触れ、その技を蓄積していく。その後、シンセシスト、プロデューサーとして数々のサウンドトラック、CM等の作曲を手掛ける。

最近の主な活動・作品

1999年 『打 ASIAN DRUMS』を発表、日本を含む16カ国で発売され、特にアメリカでは高い評価を受ける。(CHCB-10013)

2001年 『打 ASIAN DRUMS II』をリリース。(CHCB-10027)

NHKスペシャル『日本人はるかな旅』のテーマ、番組音楽を担当、同名のアルバムをリリース。(CHCB-10033)
自己のユニットUBUDで『UBUD』をリリース。(CHCB-30009)

2002年 NHKスペシャル『地球市場・富の攻防』のテーマ、番組音楽で、作曲の加古隆氏とコラボレーション。

2003年 NHK『世界の動物カメラマン・野生へのまなざし』のテーマ、番組音楽を担当。

NHK衛星ハイビジョン『パンダスペシャルDay』のテーマ音楽を担当。

NHK『にんげんドキュメント』オープニングロゴを担当。

2004年 NHK衛星ハイビジョン『遠くにありてにつぼん人』のテーマ音楽を担当。

NHK衛星ハイビジョン『カメラマン岩合光昭中国秦嶺脈を撮る』のテーマ、番組音楽を担当。

自己のユニットUBUDで『UBUD DUA』をリリース。(CHCB-10052)

山本寛斎スーパーショー『アボルダージュ』で音楽監督の加古隆氏と共に音楽を制作。

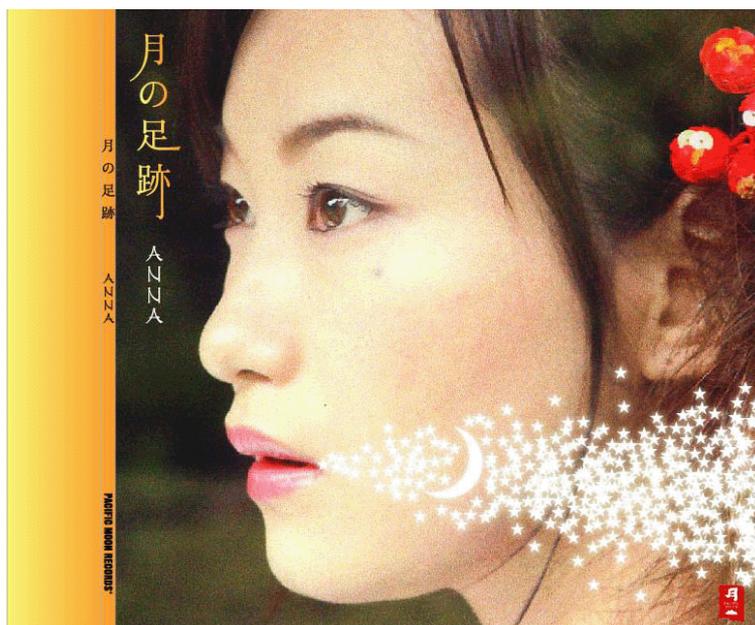
2005年 NHKスペシャル『一瞬の戦後史』のテーマ、番組音楽を担当。



とぶぞい

~いのちの祭~

ANNA プロフィール



1979年奄美大島に生まれる。3才より祖父に奄美の島歌を習い始める。
 奄美本島では、大きく笠利（かさん）節と東（ひぎゃ）節という二つの流派に別れているが、ANNAの歌う島歌は、ゆったりとした荘厳さが特徴の笠利節である。（元ちとせは、東節）
 幼少の頃より、島の祭事などのステージで歌うようになる。
 1987年に奄美民謡大賞に初出場。1989年奄美民謡大賞のKTS賞、奨励賞など、数々受賞。
 1994年鹿児島県民謡大座決定戦に出場し、優勝を飾る。
 これをきっかけに、奄美の島歌の世界で本格的な活動を始める。
 1995年笠籠地区民謡保存会主催の大会に出演。新人賞を受賞。
 1996年笠籠地区民謡保存会主催の大会に出演。最優秀賞を受賞。
 1997年奄美民謡大賞 新人賞受賞。
 1998年に上京。都内のライブハウスで歌いはじめる。
 元ちとせ、我那覇美奈（がなはみな）など、奄美大島出身のアーティストとも共演。
 CM（グリコのポッキー）やテレビなどに歌で参加。
 2000年 菅井えりのアルバム「舞」に参加し、島歌を基本とした新たな音楽の世界を発見する。
 2003年 「奄美復帰50周年記念式典」に出演。元ちとせと共に島唄を披露する。
 2004年11月にPACIFIC MOONより発売されたコンピレーション・アルバム「癒」に、ANNAが作詞し歌った曲「月の足跡」が収録された。この曲がFM局などで話題を呼び、
 2005年、PACIFIC MOONより、ソロ・アルバムをリリースすることが決定した。